



市議会
だより

きたあきた



22

平成22年3月31日発行

3月定例会

- 定例会の審議 2～3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～8
- 全員協議会 8
- 審議結果 9
- 請願・陳情、人事案件 10

その翼 広げて・・・
〔阿仁川 米内沢地区〕

3月定例会

全議案を可決

外出支援サービスと配食サービスの 料金値上げ案に反対意見も

22年度一般会計予算は
昨年を3億円下回る約194億円に

3月定例会が2月23日から3月5日まで行われ、22年度一般会計予算案など提案された71議案をいずれも可決して閉会しました。このうち高齢者・障害者への外出支援サービスと配食サービスの料金値上げの条例改正案、22年度の市民病院予算案・一般会計予算案など9議案は、意見がわかれ賛成多数での可決となり、他は全会一致で原案のとおり可決しました。

外出支援サービスは、高齢者や障害者（児）で公共交通機関の利用が困難な方に居宅から医療機関等の間を送迎するもので、北秋田市内の片道

料金を現行料金から100円増額（大館市・能代市は300円増）。配食サービスは、高齢等で調理が困難な方に食事を届けるもので現行の1食400円を30円値上げし430円とするものです。

付託された健康福祉常任委員会では賛成少数で否決すべきものとなりましたが、本会議では原案に賛成・反対両方の立場から2議員が討論しました。

賛成討論 このサービスで最も多いのは病院への利用。4月の市民病院の開院で利用増となり市の負担が増額する。

配食サービスは国の指導を上回っていて、利用者にもっと負担してもらわなければならぬ。1食700円かかっており、30円の負担増は妥当。

反対討論 外出支援サービスは、内陸線の乗車料金を基準として値上げすること

だが、登録者が421名、利用者207名と本年度の利用も半数にいたっていない。

サービスを向上させるためには利用者を増やすことが前提。現状を据え置きながら利用者を増やすべき。

以上の討論を経て、賛成多数で原案のとおり可決しました。

市民病院

会計をめぐる賛否

北秋田市市民病院の22年度予算案について、賛成・反対の立場から2議員が討論しました。

反対討論 北秋田市医療整備基本構想では、厚生連から納

付金として減価償却費相当額と利子の2分の1、計約73億円の収入の計画だった。ところが29年間で最大約97億円を支払うことになっている。赤字が続けばさらに増えることも予想される。これでは財政がパンクし、地域医療を守れない。

賛成討論 この予算を否決するということは開院を遅らせること。そうなれば施設の管理に費用がかかり赤字が増える。一般会計予算では、現状に則した医療整備構想の見直しや医療提供状況調査や経営分析業務委託という市民病院をチェックできる予算が措置されている。医療の質も向上されるよう見守っていかなければならない。

以上の討論を経て賛成多数で原案のとおり可決しました。



外出サービスと配食サービスの料金値上げ案の採決の様子



22年度一般会計は 賛成多数

22年度一般会計予算案については、市民病院関連予算等で、賛成・反対両方の立場から3議員が討論しました。

反対討論 市民の暮らしが大変で地域が元気をなくしているときこそ、予算をやりくりして温かい政策が必要だった。外出支援サービスでは、利用者の負担を高くし、市の支出

を減らしている。弱い人を困らせるやり方は認められない。一方、市民病院には1年前には予定になかった家賃をタダにすることを前提で、これに赤字補てんなどが加わる。財政が大変になるばかり。

反対討論 病院経営は、看護医療の体制が重要であり、そこを把握し評価があつてしかるべき。そこがないまま4月から動き出し、そこから調査や評価をはじめめる。それらに

多額の経費を計上。小さな事業の予算を削り、無駄と思えるところには多額の予算。危険な財政運営を迎える兆候を感じる。

賛成討論 市民病院で安心して医療を提供できるよう予算措置している。学識経験者や医療関係者、一般公募の市民で構成する医療整備基本構想の見直しに関する策定委員会の立ち上げもある。経営分析や医療の経営状況がどうなっ

ているかを分析するコンサルへの委託でもある。現実には則した医療整備構想を策定し、安心した地域医療を提供すべきと考える。

以上の討論を経て賛成多数で原案のとおり可決しました。

◇ ◇

本定例会は、改選を控え、さよなら議会となることから、議事日程終了後に津谷市長が発言を求め、勇退議員への感謝の言葉と「市政に対し引き

続きご指導とお力添えをお願いします」とあいさつがありました。続いて吉岡議長が「議会に課せられた課題は新しいルールとレールを敷くことだった。議員相互の配慮により基盤ができあがった」と合併から振り返り「山積する諸問題解決のため真正面から堂々と向かってください。市政を支えてくださった功績は大変大きく、深甚なる敬意と感謝を表します。最後に、議長として支えてくださった皆さんに心からお礼を申し上げます」と述べ、閉会しました。

平成22年度の主な事業 (単位：千円)

国民健康保険特別会計繰出金	223,733
介護保険特別会計繰出金	685,212
介護サービス事業特別会計繰出金	112,457
障害者福祉費	631,992
福祉医療給付事業費	257,931
後期高齢者医療特別会計繰出金	128,862
児童措置費	965,619
児童福祉施設費	599,804
生活保護費	627,791
北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合負担金	339,286
北秋田市周辺衛生施設組合負担金	122,381
クリーンリサイクルセンター費	182,099
簡易水道特別会計繰出金	182,099
北秋田市上小阿仁村病院組合負担金	407,572
北秋田市民病院負担金	603,652
農業集落排水事業特別会計繰出金	204,939
道路維持費	552,847
道路新設改良費	281,972
下水道事業特別会計繰出金	574,915
小学校費	386,734
中学校費	209,008
高等学校費	302,290
公民館費	115,231
保健体育費	493,188

※1億円以上の事業を掲載しています。



今定例会最後に吉岡議長があいさつを述べ、さよなら議会を閉めくつた

総務財政

市民病院へバス・乗合タクシーを実証運行

当委員会に付託された案件は、条例案3件、単行議案1件、予算案18件、陳情3件でした。

平成22年度一般会計歳入では普通交付税で3・0%、特別交付税で6・8%の伸びを見込み、前年度当初より3億3071万9千円多い103億315万円を計上。歳出では、4月1日に開院する市民

病院への運行路線について質疑があり、当局は「秋田内陸地域公共交通連携協議会が行う事業の中で運行する。それは、内陸線との連携や市民病院へのアクセスを向上させるための実証運行として、バス・乗合タクシーを運行するもの」との説明を受けました。また、財政面から「事業化できるもの全てが計上されて

いるのか、今後、予想される大きな事業は何か」との質疑に対し、当局は「具体的に事業化、予算化できるものは極力計上した。国の事業で詳細が決まらない部分があり、保留しているものもある」との答弁を受け、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものとなりました。

国の臨時交付金が確定

平成21年度一般会計補正予算（第9号）では、国の21年度第2次補正予算で創設され

た地域活性化・きめ細かな臨時交付金が3億5609万8千円見込まれ、当市では9事業が該当。また、追加提案された平成21年度一般会計補正予算（第10号）では、国の21年度第1次補正予算で創設された地域活性化・公共投資臨時交付金の交付要綱が確定したことから、今まで財源を起債に求めていた事業にこの交付金を充当するもので5億6543万1千円を計上。以上2件については全会一致で原案のとおり可決すべきものとなりました。



バス・乗合タクシーの乗降場所は、市民病院の玄関脇を予定

その他付託された案件についても全会一致で原案可決・採択しました。
（佐藤文信委員長）

教育民生

米小校舎内部の木質化を図る

本委員会に付託された事件は、条例案2件、単行議案1件、予算案8件でした。

条例案は、米内沢本郷会館設置に伴うもの、みちのく子ども風土記館の冷房設置に伴うもので、全会一致で可決すべきものと決しました。

21年度補正予算案については、精算が主でしたが、一般会計の審査で、米内沢小学校

を避難場所に指定しているが教育委員会の考え方について質疑があり、学校の適地ということを優先させたと答弁がありました。採決の結果、一般会計、特別会計とも賛成多数で可決すべきものと決しました。

22年度予算については、一般会計で、米内沢小学校改築の基本設計について、無落雪

浦小の統合は保護者の選択に

の要望があり鉄筋に限られたが校舎内部で木質化を図り実施設計に反映させたいとの考えが示されました。

浦田小学校の統合先について質疑があり、最終的には、保護者の選択に委ねたいとの考えを示し、委員からは住民の声を聞き慎重に進めてほしいと意見がありました。合川地区の4校統合について、27

年4月を考えるが、複式学級の解消へむけ部分統合につい

て早急に方針を出したいという説明がありました。

採決では、国の補助以外の政策がない、12月定例会の市民バスに関する附帯意見について十分な対応が講じられていない、市長部局と教育委員会の意思疎通が取れていないと反対討論がありました。賛成多数で可決すべきものと決しました。

後期高齢者特別会計では、制度を直ちに廃止してよりよい制度を構築すべきと反対討論がありました。賛成多数で可決すべきものとなりました。



米内沢小学校外観イメージ

その他、単行議案、老人保険特別会計は全会一致で可決すべきものと決しました。
（佐藤重光委員長）

健康福祉

外出支援サービス事業は否決

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案10件でした。

北秋田市介護予防・地域支援合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定については、外出支援サービス料金は市内旧地区単位から見て1000円の料金値上げ、また食の自立支援及び見守りネットワークについては、

1食30円の値上げとなる内容で、採決にあたっては3名の委員から「利用者が登録者の約半分、実績を上げるべきではないか。行政はもっと弱いものに手を差し伸べるべきである」との反対討論があり、採決の結果、賛成少数により否決すべきと決しました。

北秋田市診療所条例の制定については、旧阿仁地区にあ

る診療所を条例制定化するもので、これまでどおりの診療所として地域医療を継続するものとのことから全会一致で原案可決としました。

21年度補正予算4件については、全会一致で原案可決としました。

22年度一般会計と病院会計は賛成多数で

22年度一般会計予算は、社会福祉協議会補助金5970万円に対し、減額の理由について質疑があり、当局からは「社協からの要望書を精査し

た結果、職員が業務を兼務している事業がみられたことから680万円の減額となったもの」との説明を受けました。また、病院組合負担金と市民病院負担金について、委員から「病院組合の議決がない中で予算提案は順序が違うのでは」「市民病院の今後の指定管理料を考えると賛成できない」などとの反対討論もありましたが、賛成多数で原案可決と決しました。また、22年度病院事業会計についても賛成多数で可決しています。

その他、22年度特別会計予



地域医療に審議が集中
(地域医療の拠点となる北秋田市民病院)

算4件については全会一致で原案可決と決しました。

(中嶋力蔵委員長)

産業建設

緊急雇用は北秋田市民を

本委員会に付託された事件は、条例案3件、単行議案16件、予算案12件でした。

条例案は、竣工した今泉地区、浦田地区の交流センターを条例に組み入れるもの、市営放牧場を鷹巣、高津森の2か所とし、一部内容を変更するもの、道城地区の農業集落排水供用開始に伴うものの3件で、全会一致でいずれも可

決すべきものとなりました。

22年度一般会計予算では緊急雇用対策事業に「市内の雇

用が目的であり、業者への委託では意味がないのではないかと」との質疑があり「特殊業務以外は市内の雇用拡大を図りたい」という説明がありました。

また、森吉山のゴンドラ運行について、昨年立ち上げた

ゴンドラ通年運行協議会で新たな組織体制ができるまでNPO法人に運営してもらえよう協議しているという説明がありました。

ダムの取水方法を検討

簡易水道特別会計では、統合簡水事業の取水方法を検討しており、22年度で将来的な経営分析のための調査を行い、その結果に基づいて、市民、議会に説明したいという考えが示されました。以上のような審査により、22年度予算、

21年度補正予算はいずれも全会一致で可決すべきものと決しました。

指定管理に関する議案10件は、森吉観光公社の解散による共同企業体からの指定取り消しの申し出に伴い、新たにマタギの里観光開発株式会社に指定するもので「また赤字になったら補てんというようなことがないように」「市としてやっていけるかも視野に入れて検討すべき」との意見が出されました。審査の結果全会一致でいずれも可決すべきものと決し、その他の議案



秋田の木・利用推進木造公共施設整備事業により竣工した今泉交流センター

も全会一致で可決すべきものと決しました。

(松尾秀一委員長)

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う



一般質問は、2月25日に行われ、4名の議員が市長に対して、新年度予算、機構改革、市民病院、地域医療、農業振興、暮らしやすい安心・安全の街、バランスシート等様々な問題についていただきました。

*掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

- 問** 任期最後の議会、大項目で9点、小項目で29項目の質問をします。
- 1、政権交代
 - (1) 政権交代の変化で影響は。
 - (2) 二次補正と複数年の執行は。
 - (3) 低炭素社会への対応と太陽電池は。
 - 2、市民病院
 - (1) 単年度実施協定の内容。
 - (2) 医療圏再生計画との整合。
 - (3) 救急の対応で可能疾患と不能疾患は。
 - (4) 地域医療再生計画の「住民参加の仕組み」は。県の再生計画との関係は。
 - (5) 看護師の配置と院内保育所の開設。
 - (6) 医師職員の合同検討会の必要は。



千葉文吉 議員
(千光会)

- 3、秋田大学
- (1) 連携と取り組みは。
- (2) 県北地区に分校の開設。
- 4、耕作放棄地
- (1) 対策の内容と課題、太陽光パネルの設置を。
- (2) 成果のあがる現状か。
- (3) 大豆の価格補償を。
- 5、指定管理施設
- (1) 総括と観光公社の教訓。
- (2) 条例の目的と結果。
- (3) 議会への報告を。
- 6、教育振興基本計画
- (1) 目的と重点課題。
- (2) 実行できる体制か。
- 7、世界遺産登録
- (1) 伊勢堂岱、胡桃館の出土品は。
- (2) ボランティアと担当間の連携。
- 8、機構改革
- (1) 体制や研修、年休や超勤の処理。
- (2) 地域主権の実行体制。
- (3) 業務や市政の研修。
- (4) 自助共助公助の具体とNPOの育成政策形成。
- 9、非常勤職員
- (1) 実態は。

回答 質問

政権交代で予算は
交付税、対策費、過去最高

- 答** 地方交付税、臨時財政対策債が過去最高118億円を計上、地方債残高495億円、「地域活性化交付金」3億6千万円、9事業4億3千万円の繰越事業の実施。太陽光は東京の半分、学校の新設時に検討。市民病院の協定は4月1日。再生計画は訪問看護診療、在宅医療の充実。救急の重篤な病状は他の機関に搬送。再生計画と市の構想は大きな乖離、構想を変更。院内保育所は厚生連と検討。アンケート等で施策に反映。学生と地域の連携で。学長も開設の意向、調査に着手。太陽光パネルは関係機関と協議。指定管理の財政効果はある、モニタリング調査を。教育振興は教育立県を目指す。機構改革の検証と調整を行う。非常勤283名、平均年収171万円、法の規定を守って、非常勤の権利と生活が守られる配慮をする。
- (2) 勤続年数と人員比、パートタイム労働法、育児休業法の適用は。
 - (3) 短時間勤務制度が新設、平均年収。
 - (4) 非常勤も兼業禁止、精通者は正職に。

質問	回答
地域医療を守れるのか 医療体制の効率化を図る	



花田 隆一 議員
(共産党議員団)

この市民の命と健康を守ることにならないのではないか。どこにも行けない医療難民が生まれないか。

問 北秋田市医療整備基本構想から、大きくかけはなれた計画では医療体制をさらに小さくし、市民、患者の不便と不安を招く事態になるのではないか。

答 市民の税金を医療に投下する以上、限られた医療資源の有効活用と医療体制の効率化を目指すことは市の責務。米内沢総合病院と市民病院の再編統合に伴う医療サービスの低下を防ぐためには、訪問診療や訪問看護など在宅医療の充実を目指します。

問 高度医療、急性期医療を提供する病院であったが北秋中央病院がそのまま移転するようなもので、市長

で守れるのか。将来設計、家計に大きな狂いが生まれてくるし、機能分担して維持して行くべきではないか。また、一年後にすべてやめるとあるが、秋田県市町村事務組合への負担金はどれ位で、どう工面するのか。

答 市民病院に医療機能及び医療資源を集約し、北秋田医療圏の中核として医師をはじめとする医療スタッフの確保に全力を注ぎ、医療の充実を図ることこそ、市民の命と健康を守り、医療を受けることができる市民、いわゆる医療難民の発生防止につながるものと考えております。

問 米病縮小により地域経済に大きな影響を与えるし職員の生活をどのようにし

住宅リフォームに上積み

利用状況を見ながら

問 県の住宅リフォーム補助事業に市でも上積みして実施するべきではないか。

経済波及効果は、工事費総額の1・57倍ともいわれて

いる。

答 市民の利用状況を見ながら考えて行きたい。住宅投資波及効果は約7億円が見込まれます。

質問	回答
入札制度見直しを 要綱整備で地域経済を図る	



小塚 光子 議員
(千 光 会)

問 本当に暮らしやすい街を目指し、を課題に質問。

米内沢小学校基本設計入札が10分の1で落札、価格破壊懸念、昨今の社会情勢を鑑み地元業者育成と入札制度のあり方と見直しを。

答 最低制限価格制度を導入し健全な競争性の確保と事業者の育成図り、雇用、下請けを担保し地域経済への波及効果を図りたい。

問 市民病院完全看護体制含む質の評価は。引越し期間の救急体制、たらいまわしや規制あつてはならぬ出産予定者への配慮は。

医療に届かぬ地域も懸念チーム在宅・チーム医療で安心の整備は。人工透析の治療は命をつ

なく時間との戦い、対応は。

答 医療・看護は現状維持、経営面は厳しいとの精査。

3月30日午後6時から4月2日午前9時までは、他医療機関に搬送が予想。5日から診療を始める。

在宅医療に訪問看護は重要と認識し具体的に進める。人工透析患者と医師の話し

安全道や街灯整備を求める

教育委員会と連携し進める

問 県道整備で車の流れが全く変わり、小中高生の通学路、大方が危険区域となる。南中自転車通学路は暗闇の中で危険、街灯整備を。

答 都市計画道路路線や市道認定に伴い協議する。体育館付近は押しボタン式信号機を公安委員会に要請中。街灯整備に努める。

問 障がい者一般就労への足がかりをシルバー人材センター企画事業として。

答 障がい者一般就労への足がかりをシルバー人材センター企画事業として。

合いを持つ。

問 市の優先策は。防災体制の意識と危機感をより高めるべき。神戸震災学習本ビジュアル版の活用も。

答 ハザードマップ作成中、新年度全戸配布。災害時要援護者避難支援制度を整備し台帳作成。市の取り組みと連動で阿仁前田駅前自主的避難訓練体制の実践、鷹巣地区伊勢町は子ども会とで危険箇所マップづくり実践、防災学習は早速モデル校を選定し出前講座で進めたい。

答 授産的機能を企画事業として拡大できるのであれば今後、検討したい。

問 非常勤職員報酬の見直しはどのように施行。

答 職種、年数を勘案し前向きに検討中。

問 浦田保育園廃止後、小学校を児童館の機能や一時保育、高齢者・乳幼児の居場所的多機能の施策事業へ。

答 前向きに検討する。

市政の透明化に向けて

全会計の連結決算を作成



吉田仁吉郎 議員
(無会派)

ようか。そうした意味において一般会計や特別会計の連結決算が必要だと思いますが。

問 行政の会計制度は単式簿記に基づいた公会計として長い間使用されてきました。これだけでは市政の現状を市民に明確に説明することが出来ないかと思えます。そこで民間企業が使用している複式簿記を採用することによって職員にはコスト意識が生まれ、財政の効率化が求められる、また市民にとっては税の透明化が図られるのではないで

答 複式簿記に基づく地方公共団体のバランスシートにつきましてもは経済戦略会議の答申に基づいて意識づけがなされています。当市もそれを受けて平成18年度決算から一般会計による財務諸表を作成してきています。今後一般会計、特別会計だけではなく関係する一部事務組合や第三セクターをも対象とした連結バランスシートを作成し、公表することを目標として現在作業を進めています。

地域農業の振興を

計画的に取り組む

問 国の農業政策が政権交代にともない大きく変わろうとしております。これまでに定着し、続いてきた地域

の判断でその地域に合った振興作物に助成育成してきた産地確立交付金制度が廃止され、全国一律で助成す

る水田利用自給力向上事業が導入されましたが、それによって農家にとまどいがありますかどうか。

答 産地確立対策から水田利用自給力対策へ転換されても生産調整の実施のいかんによらず助成金を受け取れるよう対応したいし、これまでの振興作物についても関係機関と連携を図りながら支援して行きます。

問 土地改良事業費の減少で今後の事業展開に不安をいだいているところもあります。今後の計画に支障がありませんか。

答 平成22年度農水省の概要によると国費ベースで農林予算総額が対前年度4・2%の減、公共事業費が前年度比34・1%の減、農業農村整備が63%の減と厳しい状況になっていますが市の農業農村整備関係事業費として平成23年度からほ場整備が1箇所、平成22年は4箇所が計画されていますが22年度事業は計画的に進むものと考えております。それ以降についても関係機関と連携を密にし推進を図って行きます。

2月16日
全員協議会

米内沢病院の 今後の運営を協議

2月16日、市議会全員協議会を行い、公立米内沢総合病院の今後の運営について意見を交わしました。

病院管理者の津谷市長は「病院組合は、上小阿仁村との協議で、来年3月末で解散する予定。現時点では、米内沢病院を診療所化する方向がベターと考えている」としました。

続いて、当局が4月以降の体制について「外来が現行の11科から内科、小児科、脳外科、整形外科（調整中）の4科に縮小。入院診療は、一般病床65床を廃止し、療養病床60床とする。一般病床は市民病院に統合」などと説明しました。

議員からは「入院患者は市民病院へ受け入れるのか」との質問に対し、当局は「全員受け入れる」と答弁。また、議員から、1年後に組合を解散することや28人の早期退職者を募ることについて、再就職の受け入れ、地元経済の影響など

心配の声があがりました。また「病院経営について職員や労働組合との対話が必

2月25日
全員協議会

内陸線存続を前提に 4者基本合意

2月25日、本会議終了後に市議会全員協議会を行い、県・北秋田市・仙北市・内陸縦貫鉄道(株)の4者で交わされた「秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意」などについて説明を受け、意見を交わしました。

合意書は、平成22年度経常損失額2億円以内にすることを目標とし、基本的な役割分担、会社への運営費補助、会社の経営改善、鉄道施設等の大規模改修について明確にしています。

議員からは「24年度までに目標を達成するには厳しい側面がある。どう考えているか」との質問に対し、佐藤副市長は「人口減少の中、鉄道の定期収入に関し

要ではなかったか」との意見に対し、市長は「もっと早い時期に相談すべきであった。混乱させてしまつて申し訳なく思っている」と述べ「市としては複数の病院を抱えていくことは困難」と理解を求めました。

では22年度がピーク。観光関係に相当力を入れなければならぬ。さらに、旅行業、物販業、広告業でも収入増を図る」との認識を示しました。また「県職員3人を内陸線再生支援対策室に配置し、市職員と相互に派遣というかたちを取りながら一体となって利用促進のみならず沿線の魅力向上やPR等の活動を推進する」との今後の体制についても示しました。

また「老朽化している駅舎の大規模改修はどちらが施工するのか」との質問には「補助対象とならない。施工するとすれば会社独自」と答え、理解を求めました。

今 定 例 会 で 審 議 さ れ た 議 案 と 結 果

事 件	審議結果		事 件	審議結果	
平成22年度北秋田市一般会計予算	賛成多数	原案可決	平成21年度北秋田市栄財産区特別会計補正予算（第4号）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	原案可決	平成21年度北秋田市米内沢財産区特別会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計予算	全会一致	原案可決	平成21年度前田財産区特別会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市老人保健特別会計予算	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市阿仁合財産区特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市介護保険特別会計予算	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市大阿仁財産区特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市介護サービス事業特別会計予算	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市病院事業会計補正予算（第4号）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市簡易水道特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市農業集落排水事業特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市下水道事業特別会計予算	全会一致	原案可決	秋田内陸縦貫鉄道株式会社に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市介護予防・地域支え合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	原案可決
平成22年度北秋田市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市診療所条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市北秋田市立阿仁診療所特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市米内沢本郷会館条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市坊沢財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市農林業振興センター条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市綴子財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市営牧場条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市栄財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市沢口財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市みちのく子供風土記館条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市七日市財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	財産の取得について（保健センター外敷地）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市米内沢財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	市道路線の廃止について（大町～本屋敷線外15路線）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市前田財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	市道路線の認定について（北家下1号線外8路線）	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市阿仁合財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	大館市、北秋田市、北秋田郡地域視聴覚教育協議会の廃止について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市大阿仁財産区特別会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市国民宿舎森吉山荘の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市病院事業会計予算	賛成多数	原案可決	北秋田市クィンス森吉の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
平成22年度北秋田市水道事業会計予算	全会一致	原案可決	北秋田市太平湖グリーンハウスの指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
北秋田市簡易水道事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	北秋田市コンベンションホール四季美館の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
北秋田市農業集落排水事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	北秋田市打当温泉マタギの湯の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
北秋田市下水道事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	北秋田市ふるさとセンター（マタギ資料館）の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入について	全会一致	原案可決	北秋田市農業者健康管理施設の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市一般会計補正予算（第9号）	賛成多数	原案可決	北秋田市阿仁農林水産物直売・食材供給施設の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	賛成多数	原案可決	北秋田市阿仁熊牧場の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市国民健康保険合川診療所特別会計補正予算（第5号）	全会一致	原案可決	北秋田市遊遊ガーデン施設の指定管理者の指定について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市介護保険特別会計補正予算（第4号）	全会一致	原案可決	平成21年度北秋田市一般会計補正予算（第10号）	賛成多数	原案可決
平成21年度北秋田市簡易水道特別会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決	北秋田市教育委員会委員の任命について	全会一致	同 意
平成21年度北秋田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	全会一致	原案可決	北秋田市固定資産評価審査委員の選任について	全会一致	同 意
平成21年度北秋田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致	原案可決	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致	同 意
平成21年度北秋田市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決	議会運営委員会の所管事務調査について	全会一致	原案可決
平成21年度北秋田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	賛成多数	原案可決	陳情3件・意見書提出4件	P10 参照	
平成21年度北秋田市坊沢財産区特別会計補正予算（第2号）	全会一致	原案可決			



三浦克昭議員が逝去
市政発展に多大な功績
市議会議員の三浦克昭氏が
3月14日午前3時17分に永眠

されました。享年67歳でした。三浦氏は、旧合川町議を3期、合併特例により引き続き新市の議員として在任され、その後の改選により1期目在任中でした。政治理念を「農林業を基盤にした地場産業の育成」「教育の振興による人材の育成」「福祉保健の充実」と掲げ、積極的に取り組まれた功績は多大でありました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

みなさんからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書採択を求める陳情書	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	採 択	提 出
非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択についての陳情	秋田県原爆被害者団体 協議会 会長 小山 春雄	採 択	提 出
鳩山首相は、名護市長選挙で示された民意を尊重し、『公約』を守ることを要望する意見書について（陳情）	秋田県平和委員会 理事長 風間 幸蔵	採 択	提 出
「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書の提出について (総務財政常任委員会発議)			提 出

人事案件

本定例会に3件の人事同意案件が提案され、それぞれ次のとおり同意することに決定しました。

◎北秋田市教育委員会委員
吉田 美樹 氏(再任)
川井字屋布岱
◎北秋田市固定資産
評価審査委員
関口 博 氏(再任)
米内沢字長野沢

梅井 繁司 氏(再任)
阿仁吉田字町頭
◎人権擁護委員候補者
澤藤 茂子 氏(新任)
木戸石字屋布岱

あとがき

議会終了日と議会だより発行日に間があるので、何にするか皆で毎回迷いながらの表紙撮影でしたが、いかがだったでしょうか。

議会の内容を主観を入れず忠実に、わかりやすく伝えること、結構難しく、楽しくもありました。

広報公聴特別委員会に所属させていただいた4年間に感謝します。
(副委員長 松尾 秀二)

議会の審査

暮らしに直結
届ける議会だよりは
市のバロメーター

春夏秋冬 気を締めて
届けよ 想いを
みなさんへ

4年間、信頼し合うメンバーと共に続けられましたことに感謝申し上げます。

次年度も皆さんから待たれる議会報であることを念じ夢を託したいと思えます。
(小塚 光子)



ご愛読ありがとうございます。
(広報公聴特別委員)

限られた紙面でわかりやすく伝えることに試行錯誤の連続で、充分伝わったかは反省も残るところです。
他市では、賛否がわかれた議案にはどの議員が賛成したか反対したかがわかるような一覧表を掲載するなど、工夫している例もありますので、

議会の傍聴 お待ちしております

ました。二羽の白鳥が川面を力強く蹴って飛翔する姿を写したものです。当局も議会も未来への飛躍発展を目指す志は一緒。タイトルの・・・に、私なりに言葉をに入れてみました。「(その翼広げて) 飛翔のとき、切磋琢磨したエネルギーがより高く、大空へ舞い上がらせる」ご愛読に感謝致します。
(庄司憲三郎)

今回号は、議員改選のため、3月中に発行することになりました。
広報公聴特別委員会のスタッフの協力により無事任務を果たすことが出来ました。

議会報を市民の中にどれだけ浸透されるか大きな目的であり、それも目的が達成されたのではないかと自負しています。

議会報の記事は、各議員の協力により議員個々に書いてもらっています。この点は、北秋田市議会の強みであると感謝しています。
(委員長 米澤 一)

今号の表紙のタイトルを「その翼広げて・・・」とし

(板垣 淳)